

聖マリアンナ医科大学病院を受診された 患者さん、ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究は聖マリアンナ医科大学生命倫理委員会の承認と学長の許可を得て行います。

研究課題名 (研究番号)	早産児の呼吸器疾患の治療の変遷による予後の変化に関する後方視的検討
研究責任者	北東 功(新生児科)
本研究の目的	早産で出生した赤ちゃんの呼吸器に関する後遺症を検討する研究です。
調査データ該当期 間と対象	2006年4月1日から2024年6月30日に出生し、当院NICUに入院した在胎37週未満の新生児 先天異常を有する新生児、蘇生に反応がなかった新生児、蘇生されなかった新生児は除外します。
研究実施期間	承認後から2028年3月31日
研究の方法 (使用する情報)	試験の方法：後方視的検討 カルテからの抽出項目：出生年、出生週数、出生体重、呼吸器疾患の病名、呼吸管理法、サーファクタント投与の有無及び投与方法、ステロイド投与の有無、CLD36（修正36週時に呼吸補助、酸素投与を受けている状態）、HOT（在宅酸素療法）の有無、合併症（呼吸器以外も含む）の有無、栄養状態、転帰（死亡、神経学的後遺症の有無）。母体投薬の有無、破水から分娩までの期間。 方法：サーファクタント投与方法、ステロイド投与の有無、呼吸管理法の違いにより人工呼吸管理期間や慢性肺疾患の発症率や在宅酸素療法に違いが生じているかを比較検討します。また、呼吸管理と短期的予後の関係として、未熟児網膜症や頭蓋内出血、栄養状態についても治療内容の違いにより差が生じるのかを比較検討します。
研究結果の公表	研究結果は学会や、医学研究雑誌等で発表される予定です その際も個人を特定出来る情報は一切含まれませんのでご安心ください。
個人情報の取り扱い	個人を特定出来る情報の登録はありません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
本研究への参加 を希望されない 場合	この調査の対象となられる方で、ご自分あるいは御家族の情報を登録したくない場合は、 2026年3月31日 までに下記の問い合わせ先までご連絡下さい。なお、お申し出がなかった場合には参加を了承していただいたものとさせていただきます。 尚、研究に同意しないことによって不利益な取り扱いを受けることはありません。
問い合わせ先	聖マリアンナ医科大学病院 新生児科 担当者 北東功 住所：〒216-8511 神奈川県川崎市宮前区菅生 2-16-1 電話：044-977-8111(代表) 内線 3321